



# 宮崎県庁地球温暖化対策実行計画



## —平成19年度取組実績について—

宮崎県庁では、平成18年3月に「宮崎県庁地球温暖化対策実行計画」を策定し、県庁の事務や事業から排出される温室効果ガス総排出量を削減することを目標に、県の全機関を挙げて積極的に省資源・省エネルギー等の温室効果ガス排出削減に向けた取組を行っています。

### ○ 削減目標

平成22年度までに平成16年度比で **2.4%** (1,268t-CO<sub>2</sub>) 削減する。

※ 平成16年度の温室効果ガス排出量 52,837t-CO<sub>2</sub>

### ○ 対象となる温室効果ガス

ガスの種類	発生源
二酸化炭素	電気、A重油、ガソリン等の電気・燃料の消費
一酸化二窒素	麻酔剤の使用、家畜の飼養、公用車の走行
メタン	家畜の飼養、水田の耕作、船舶の燃料
代替フロン	公用車カーエアコンの使用

## I 具体的な取組

### 1 グリーン購入の推進

#### ・ 公用車

公用車を購入する場合は、低公害車（低燃費車、低排出ガス車）を率先して導入しました。

平成19年度の購入実績 **97.1%** (34台中33台)



#### ・ 事務用品等の対象物品

コピー用紙や事務用品を購入する際には、環境にやさしい製品を優先して購入しました。

平成19年度の購入実績 **95.8%** (対象物品の全購入件数に占める割合です。)

### 2 オフィス活動における環境配慮

職員一人ひとりが日常の業務の中で、環境に配慮した行動を実践しました。

主な実践内容

パソコン電源の適正管理、待機時消費電力の削減、照明時間の短縮、公用車の効率的な使用、用紙類使用量の抑制、廃棄物の減量化及びリサイクルの推進、水使用量の抑制 等

### 3 県有施設の建築、維持管理における環境配慮

#### ・ 県立宮崎病院でE S C O事業を導入し、大規模な省エネ改修を行いました。

これによって、年間3,324t-CO<sub>2</sub>の温室効果ガス排出量の削減が見込まれています。

#### ・ 地球温暖化防止及び省エネルギーの観点から、冷暖房温度の適正管理を行いました。

夏季：6月～9月までの期間、冷房の温度を28度に設定。

冬季：12月～3月上旬までの期間、暖房の温度を19以下に設定。

#### 4 職員の実践 ～毎週水曜日は地球にやさしい行動の日～

職員一人ひとりの自発的な環境保全活動を推進するために、毎週水曜日は「地球にやさしい行動の日」として、一斉消灯、ノーマイカー、省エネ点検に取り組んでいます。

##### ①一斉消灯

午後6時以降の一斉消灯や部分消灯に取り組みました。  
平成19年度の一斉消灯実施率：58.2%  
※本庁と周辺所属を対象に調査（議会開会中は含みません）



##### ②ノーマイカー

通勤時のマイカー使用や出張時の公用車使用を控え、自転車や徒歩、公共交通機関への利用転換に努めました。

平成19年度ノーマイカー率：76.6%（通常日：62.3%）

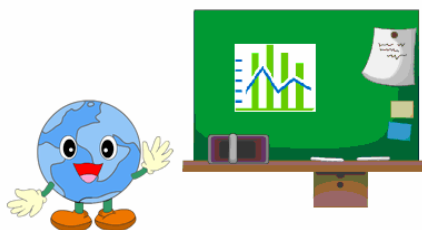
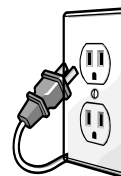
通常マイカー通勤している職員961名のうち、

調査日に364名（約37.9%）が徒歩、自転車、公共交通機関等に利用転換。

※本庁と周辺所属を対象に調査

##### ③省エネ点検

昼休みや残業時の消灯、退庁時の身の回りの電源オフ確認、ゴミ分別の徹底など、職員一人ひとりが身近にできる省エネ活動を行っており、定期的に自己の取組に対するチェックを実施しました。



##### ※ 職員の環境研修

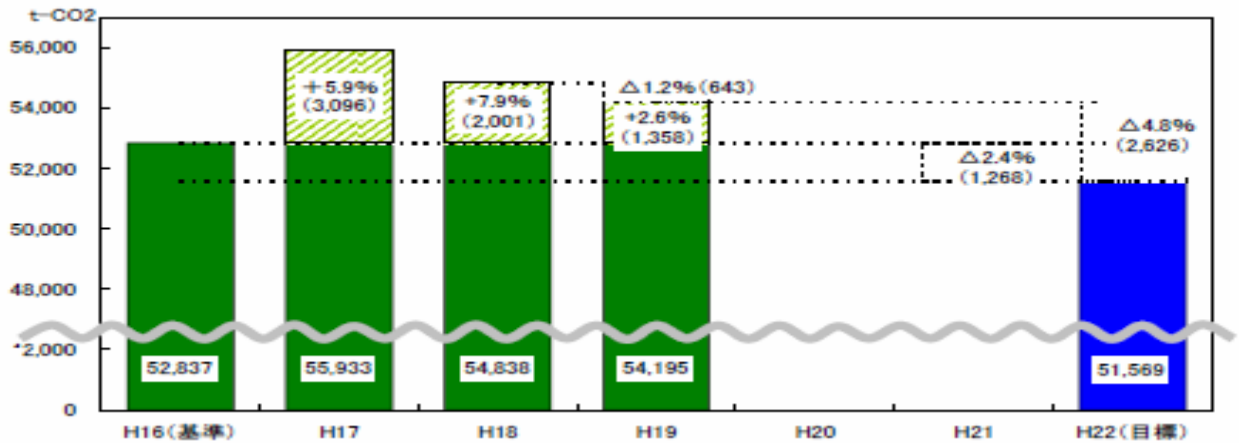
環境保全に関する職員の意識を高め、積極的な環境保全活動を推進するために、すべての所属（259名）で地球温暖化防止や省エネ等、環境に関する研修を実施しました。

## II 温室効果ガスの排出量

平成19年度の温室効果ガス総排出量は、**54,195 t-CO<sub>2</sub>**でした。  
 今後も目標達成に向けて、一層の省エネ等の取組を進めていきます。

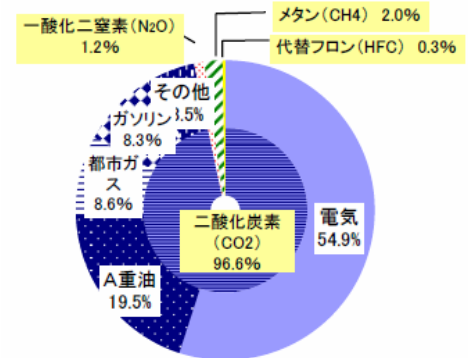
### ○排出量の推移

年 度	16 (基準)	17	18	19	22 (目標)	
排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	52,837	55,933	54,838	54,195	51,569	
基準年度比 (%)	—	+ 5.9	+ 3.8	+ 2.6	△ 2.4	
前年度比 (%)	—	+ 5.9	△ 2.0	△ 1.2		



### ○平成19年度のガス別排出量

	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	排出割合 (%)
二酸化炭素	52,341	96.6
メタン	1,062	2.0
一酸化二窒素	640	1.2
代替フロン	152	0.3
計	54,195	100.0



#### ① 二酸化炭素

	電気	A重油	都市ガス	ガソリン	灯油	軽油	LPガス	計
排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	29,758	10,560	4,686	4,501	1,329	1,071	436	52,341
排出割合 (%)	56.9	20.2	9.0	8.6	2.5	2.0	0.8	100.0

#### ② メタン

	家畜	水田	ガソリン車	A重油 (船)	船舶	軽油車	計
排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	952	94	8	6	1	1	1,062
排出割合 (%)	89.6	8.9	0.8	0.6	0.1	0.1	100.0

#### ③ 一酸化二窒素

	麻酔剤	ガソリン車	家畜	A重油 (船)	窒素肥料	軽油 (船)	軽油車	計
排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	306	170	120	26	8	6	4	640
排出割合 (%)	47.8	26.6	18.8	4.1	1.3	0.9	0.6	100.0

#### ④ 代替フロン

	ガソリン車	計
排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	152	152
排出割合 (%)	100.0%	100.0